

# 日本六古窯を辿る

「旅する千年六古窯」火と人、土と人、水と人が出会った風景  
瀬戸市制施行90周年記念 日本遺産認定記念  
瀬戸市美術館特別展

中世から現代にかけて、わが国において連続と窯業生産が営まれた6つの窯業地、「瀬戸」・「常滑」・「越前」・「信楽」・「丹波」・「備前」。昭和30年代に小山富士夫氏によって「六古窯」と提唱されたこれらの窯業地は、永い間、日本のやきもの文化に多大な影響を与えてきました。平成29年には日本遺産に認定され、「日本生まれ日本育ちのやきもの産地」として広く知られるようになってきましたが、各窯業地を育んだ歴史的背景はそれぞれ異なり、時代によってその生産内容にも特徴がみられることから、一言で「六古窯」と一括りされるべきものではありません。

古墳時代以降、東海地方最大の窯業地となった「猿投西南麓古窯跡群」（通称「猿投窯」）で、平安時代に誕生した灰釉陶器。その技術を継承し、中世では日本で唯一の高級施釉陶器を生産し、窯業地としての地位を確立した瀬戸窯。同じく、猿投窯の灰釉陶器生産の系譜により成立し、中世においては瀬戸窯とは異なる無釉の焼締陶器、特に大型の壺・甕類の量産体制を確立した常滑窯。さらに常滑窯の製品や、それを焼造した窯炉構造の類似などから、東海地方の影響を受けて成立したと考えられている越前窯・信楽窯・丹波窯。やはり焼締陶器の生産であったものの、他の窯業地とは異なり古墳時代の須恵器窯からの技術を継承し成立した備前窯。これら各窯業地は、特に江戸時代中期以降、近代にかけて独自の製品を生み出していますが、それは、その時代の需要を反映したものであり、各窯業地が生き残りを受けて生み出した特産品と呼べるものでした。

本展覧会では、瀬戸会場で、六古窯の誕生から近代にかけて、各窯業地がどのような歴史を歩んだかを代表的な作品とともに概観し、常滑会場で、六古窯及び常滑窯に影響を受けた周辺諸窯の作品を展示します。

# 日本六古窯を辿る

「旅する千年六古窯」火と人、土と人、水と人が出会った風景  
瀬戸市制施行90周年記念 日本遺産認定記念  
瀬戸市美術館特別展



丹波 常滑 瀬戸 信楽 越前 備前

2019年 8月3日(土)～9月29日(日) ※常滑会場は、9月23日(月・祝)まで

会場 瀬戸会場 瀬戸市美術館1階 常設展示室・企画展示室1  
常滑会場 とこなめ陶の森 陶芸研究所 展示室  
展示内容 瀬戸会場 「日本六古窯それぞれの歩み」  
瀬戸窯・常滑窯・越前窯・信楽窯・丹波窯・備前窯の中世から近代にかけての作品 約50点  
常滑会場 「常滑窯と諸窯の関係」  
六古窯と中・近世諸窯(瀬美窯・中津川窯・染屋焼)と現代作家作品(常滑焼及び染屋焼) 約40点  
主催 六古窯日本遺産活用協議会、瀬戸市美術館、公益財団法人瀬戸市文化振興財団、とこなめ陶の森  
助成 平成31年度文化芸術振興費補助金(日本遺産魅力発信推進事業)  
入館料 瀬戸会場 大人:500円(400円:20名以上の団体)、高大生:300円(240円:20名以上の団体)  
※中学生以下、妊婦、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は無料  
常滑会場 無料  
開館時間 瀬戸会場 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)、初日は午前11時開館  
常滑会場 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休館日 瀬戸会場 8月13日(火)・9月10日(火)  
常滑会場 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)

【写真】  
瀬戸 灰釉草花文仏花瓶 14世紀 瀬戸蔵ミュージアム蔵  
常滑 猫がき文大甕 12世紀 とこなめ陶の森蔵  
越前 無大德利 16世紀 福井県陶芸館蔵  
信楽 駒四方掛花入 17世紀 滋賀県立陶芸の森蔵  
丹波 壺 13世紀 兵庫陶芸美術館蔵  
備前 尻張水指 16世紀 備前焼ミュージアム蔵

瀬戸市美術館  
Seto City Art Museum  
〒489-0884 愛知県瀬戸市西家町113-3  
TEL 0561-84-1093 FAX 0561-85-0415  
E-Mail art@city.seto.lg.jp  
URL http://www.seto-cul.jp/

## 瀬戸会場



瀬戸 鉄釉草花文仏花瓶 14世紀 瀬戸蔵ミュージアム蔵  
常滑 自然釉三筋壺 12世紀 とこなめ陶の森蔵  
越前 船徳利 16世紀 福井県陶芸館蔵  
信楽 鬼桶水指 16世紀 滋賀県立陶芸の森蔵  
丹波 壺 15世紀 兵庫陶芸美術館蔵  
備前 直線文壺 鎌倉時代 備前焼ミュージアム蔵

## 関連事業

- ギャラリートーク 学芸員による作品解説を、作品鑑賞しながらお聞きいただけます。  
日時:2019年8月24日(土) 午後1時30分～  
場所:瀬戸市美術館
- 六古窯カフェ  
日時:2019年8月3日(土)～9月29日(日) 午前10時～午後4時30分  
場所:瀬戸市新世紀工芸館  
問い合わせ先:瀬戸市ものづくり商業振興課 (0561-88-2807)
- 六古窯の土にふれあう  
日時:2019年9月1日(日) 午後2時30分～午後4時30分  
場所:INAXライブミュージアム  
問い合わせ先:常滑市商工観光課 (0569-47-6111)

## 同時開催

- 瀬戸市制施行90周年記念・瀬戸市美術館特別展  
「平成から令和へ 日本招き猫大賞の20年」

## 次回展覧会情報

- 瀬戸市制施行90周年記念・瀬戸市美術館特別企画展  
「小森忍・河井寛次郎・濱田庄司一陶磁器研究とそれぞれの開花」  
会期:2019年10月5日(土)～12月22日(日)

## 近隣施設情報

- 瀬戸蔵ミュージアム TEL0561-97-1190  
①企画展「新出土品展 古代TOWNわかみや  
～古墳時代に栄えた矢田川流域の集落～」  
会期:2019年5月18日(土)～8月25日(日)  
②企画展「土の詩～愛陶工陶芸部会展～」  
会期:2019年7月13日(土)～9月29日(日)
- 瀬戸市新世紀工芸館 TEL0561-97-1001  
①企画展「田上知之介 吉田守孝 陶芸二人展」  
会期:2019年6月29日(土)～9月23日(月・祝)  
②企画展「手しごとの味わい」  
会期:2019年7月27日(土)～9月29日(日)
- 瀬戸染付工芸館 TEL0561-89-6001  
企画展「涼運ぶやきもの一染付」  
会期:2019年7月3日(水)～9月23日(月・祝)
- 愛知県陶磁美術館 TEL0561-84-7474  
①企画展「インダス文明への道ー栗田功コレクションを中心にー」  
会期:2019年6月29日(土)～8月18日(日)  
②特別企画展「京都国立近代美術館所蔵 川勝コレクション  
鍾漢窯 陶工・河井寛次郎展」  
会期:2019年8月24日(土)～10月20日(日)

## 常滑会場



常滑 甕 13世紀 とこなめ陶の森蔵  
瀬美 甕 12世紀 田原市教育委員会蔵  
中津川 甕 13世紀 中津川市教育委員会蔵

## 愛知県陶磁美術館 関連事業

- 特別展示「六古窯のはじまりと六古窯以外の中世窯」  
内容:六古窯をはじめとする中世日本の代表的なやきもの産地を比較して紹介します。  
会期:2019年8月3日(土)～9月29日(日)  
会場:愛知県陶磁美術館 本館2階第3展示室  
休館日:毎週月曜日(ただし、8月12日(月)は開館、13日(火)は休館、  
9月16日(月)、23日(月)は開館、17日(火)、24日(火)は休館)  
観覧料:一般400円(320円)、高校・大学生300円(240円)、中学生以下無料  
( )内は20名以上の団体料金
- 「日本六古窯トークセッション(仮)」  
日時:2019年8月31日(土) 午後1時～午後4時  
会場:愛知県陶磁美術館 本館地下1階講堂

## 瀬戸会場案内図



瀬戸市美術館  
Seto City Art Museum  
〒489-0884 愛知県瀬戸市西家町113-3  
TEL 0561-84-1093 / FAX 0561-85-0415  
E-Mail art@city.seto.lg.jp  
URL http://www.seto-cul.jp/

## 常滑会場案内図



とこなめ陶の森  
〒479-0222 愛知県常滑市常滑7丁目222番地  
TEL/FAX 0569-35-3970  
E-Mail touzonon@city.tokoname.lg.jp  
URL http://www.tokoname-tourism.jp/

